

救急外来(時間外診療)の役割

救急外来は、事故などによるケガや体調が急変悪化した患者(救急患者)を受け入れるためのものです。

緊急性の無い軽症患者さんは、救急外来では無く、次の開院日の診療時間内に受診しましょう。



「コンビニ受診」という言葉を知っていますか?

コンビニエンスストア(24時間営業)に行く感覚で、日中に受診できるにもかかわらず、救急外来に受診する患者さんの事を言います。

例えば

- 日中は仕事を休めないから夜間に受診。
- 日中は病院が混んでいるから夜間に受診。
- 夜間にいきなり健康診断を受けたい。(※できません。) などなど

これらは、地域医療の疲弊を招くものなので、コンビニ受診は避けましょう。

時間内に受診すべき患者さんがたくさん救急外来を受診するとどうなるの?

- 一刻も早く治療が必要な重症患者さんが、治療を受けるのが遅くなり、最悪命を落としてしまう危険性があります。
- 稚内市内の救急外来は、少ない医師の中で、救急外来のほか、外来診療・入院診療・手術をしています。また、当直医は、その日の外来診療・救急外来・次の日の午前中の外来診療に従事しています。

時間内に受診すべき患者さんが救急外来にたくさん来ることにより、一睡もできないまま次の日の外来診療に従事することも少なくなく、心身の疲れにより、お医者さん本来の力が発揮できなくなります。

限りある稚内の医療資源を市民一丸で守っていきましょう。

お願い

救急車は正しく使いましょう!

救急車の台数には限りがあり、事故や急病など一刻を争う人の為にあるものです。

タクシー代わりに利用されると、本当に救急車が必要な方の命が危ぶまれます。自分で病院に行ける場合

は、タクシーなどを利用しましょう。



地域医療を守り育てる3か条

かんしん(関心)を持とう。 まずは知るところからすべては始まります。「自分はまちの医療にかかっていないから関係ない」というあなた、あなたが20年後、車を運転できなくなったら?あるいはあなたのご家族は?関係ない人などいない、それが地域医療です。

からだづくりに取り組もう。 あなたが病気にならずに病院・診療所のお世話にならなかつたら、医師の業務は減り、余裕が生まれます。日ごろの食事や運動習慣を見直す、健康診断・がん検診を受けるなど、住民ができる健康増進は多いです。

かんしゃ(感謝)の気持ちを伝えよう。 膨大な業務や患者の心ない言葉に、医療者の心と体はボロボロです。人と人との関係として当然わき上がる感謝の気持ちを忘れずに伝えてください。感謝の言葉が、医療者を元気づけます。